京城日報
九日（月）夕刊
編輯兼發行人 鶴谷一乾 印刷人 小川三之介
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

近衛内閣の根本策

綜合國力の充實を樞軸に

「書流し九項目より成る」

【東京電話】近衛内閣の對時局根本政策に關する企劃院草案は書き流しの九項目より成つてをり、その根幹において綜合國力充實の事に歩を進めて、閣議の檢討審議の結果多少の變改が豫想されるが、草案の骨においてはこれを中外に闡明すると共に近衛首相は休會明け議會冒頭の施政方針演說で趣旨を敷衍力說してその實現を期するはずである、政府要綱左の如し

一、萬邦比類なき國體をいよいよ明徴ならしめ内、擧國一致體制の充實を期すると共に外、皇道の中外宣揚に邁進すること 一、文教を刷新し帝國の人的資源の確保充實を圖ること 一、東亞の安定勢力たる帝國の地位を益々鞏固ならしめ自主的見地に立つて外交の調整を圖ること 一、日滿一體不可分の關係を益々緊密ならしめること 一、日獨伊防共協定を強化しこれを樞軸としコミンテルンの平和攪亂政策に對する世界的集團的保障の實現を期すること 一、生產力の跛行的現狀を是正し飛躍的國力の伸張を圖りこれに對する人的物的資源の擴充を圖ること 一、世界における資源開發と貿易の自由實現を標榜し世界經濟を再檢討し國力伸張を期すること 一、國際收支を適合せしめわが國民生活を安固ならしめること 一、時局の收拾に萬全の力を致し國民生活に不安を與ふるが如き一切の原因の芟除絶滅を期すること【寫眞は近衛首相（新春撮影）】

曹汝霖氏 王氏と會談

【北京八日同盟】元北京政府の各部總長を歴任せる北支在野の有力者たる曹汝霖氏は七日夜天津より來京、八日午前十時外交大樓に臨時政府行政委員會委員長王克敏氏を訪問重要會談を遂げた、同氏は臨時政府より政府入りを懇望されてゐるが政治の表面に立つを肯まずこれを固辭して受けないので近く設立される日支經濟協會の重要地位に推される模樣である

"防守的態度を一擲 全線に亘つて攻勢へ"

漢口に重要軍事會議を開催決定

【ロンドン八日同盟】漢口ロイテル電によれば國民政府は蔣介石、白崇禧、閻錫山、宋哲元、唐生智等最高首腦參加のもとに數日來重要軍事會議を開催、今後の對日作戰を協議した結果七日に至り重要方針を決定各議を終了し各將領は目下新方針を携へ直ちに前線司令部に通達すべく準備中といはれるが、同會議において支那軍首腦は過去の防守的態度を一擲し敢然全線に亘り攻勢を取る新方針に鞏意を表明したと報ぜられる、しかして右戰術變更の根據として支那側は日本軍は廣汎な戰線で行動する結果各戰線の兵力少くしかも前線と後部との距離は數哩に及びその間の連絡は殆ど無防備に曝されてゐる事を指摘してゐる

毛澤東も列席

【ニューヨーク八日同盟】國民政府は數日來漢口に對日作戰決定の大評定を遂げたがニューヨークタイムス漢口特電によれば同會議には共產黨側から委員長毛澤東が自ら出席し國共合作方法につき重要打合せを遂げたことが判明した、漢口共產黨事務所では毛澤東が漢口に乘込んでゐることを極秘に附してゐるが某政府高官は毛の會議出席を肯定した

郭沫若 訓練部秘書に任命さる

【上海九日同盟】支那左翼作家郭沫若は今回大本營政治訓練部秘書長に任命された、郭は事變勃發するや亡命先の日本を引揚げ妻子を千葉縣に殘したまま密かに歸國救亡日報に立て籠つて得意の抗日論陣を張つてゐたが上海包圍の完成で上海を脱出、香港經由漢口に赴いたものである、政治訓練部主任は陳誠で支那インテリ層に絶大の人氣を持つ郭はその下にあつて頗る注目されてゐる

何應欽を總參謀長に

【上海九日同盟】漢口よりの消息によれば第二期抗戰遂行のため陣容の整備に努めてゐる蔣介石は何應欽を大本營總參謀長に任命するに內定したと言はれる

局面打開に 支那側著しく焦燥

【東京電話】政府は六日の四相會議において東洋平和確立を目標とする支那事變の目的達成は支那側がその非を悟つて徹底的に反省せざる限り如何なる困難をも克服し飽迄所信に邁進する方針を決定しこれを中外に發表し更に九日日曜にも拘らず大本營と年頭最初の連絡會議を開きこの方針に基き諸般の準備につき重要協議を行ふこととなつたが最近支那側は相次ぐ敗戰、また南京を始めとして國內重要據點を奪取せられ一方その最も恃みとするソヴエート聯邦、英、米等諸國の積極的援助も意の如くならぬため國民は頗る失望し、和平の空氣次第に擡頭して居る如く全國要人達も口に抗日を唱へ乍ら局面打開に著しく焦燥の觀を示してをり、そのため今後支那側はこれら情勢を反映し極めて微妙な動きを見せて來るものとの觀測が有力を加へその成行きは頗る重視されてゐる

わが要求を 英來週協議

【ロンドン八日同盟】イギリス政府は上海工部局に對する日本の要求を重大視し既に外交機關を通じて米佛兩國政府に商議を開始したが來週の閣議において日本の要求を檢討した上對策を協議すると見られる、アバス通信社はイギリス政府の態度につきロンドン外交界の觀測として左の如く報道してゐる

日本が眞に協力し事態を收拾する誠意を示せばイギリスは或る程度現實の事態を承認するであらう、但しイギリスの揚子江の自由航行權は飽くまでこれを維持する覺悟と見られる

國旗引卸し事件を ロ通信大々的報道

【ロンドン八日同盟】英國國旗引卸し事件以來イギリス言論界は一時鳴りを鎮めてゐたが上海の不祥事件發生に刺戟されロイテル通信は「緊迫の一週間」と題して上海における最近の事件を列擧し夕刊各紙は支那側の國旗引卸し事件を大袈裟に報道してゐる、チエンバレン首相は週末休暇明けを待つて早速事件の糾明に着手する豫定で外務省當局はそれを重視してゐる模樣にて工部局改組に關する日本側の要求を愼重檢討中だといはれてゐる

狼狽した蔣 後方攪亂に出る

【上海八日同盟】兗州、濟寧（山東省）及び明光、臨淮關（安徽省）の南北兩方面よりする我軍の挾擊により滿洲事變以來五ケ年の日子と巨額の國費を投じ外國人顧問指導のもとに構築された隴海線の堅陣は俄然危機を孕へられるに至つたとの漢口よりの報道により狼狽した蔣介石は各地軍事將領を同地に召集して軍事會議を開催の結果從來の防禦作戰を拋擲し攻擊作戰に變更、更に日本軍の後方攪亂のため遊擊作戰を併用する事に決したと傳へられる、同會議に列席した軍事首腦はこの結果を携へ各任地に歸還し新作戰に基き軍事行動に着手する模樣であるが支那軍が斯の如く自軍の作戰行動を殊更に公表し軍事會議開催、徐州の死守を宣傳する眞意は徐州陷落で日本軍の南北兩路の握手成り漢口の動搖に備へんとする窮餘と見られる

長驅、南寧（廣西省）爆擊

平井兵曹戰死、敵六機擊墜

【上海九日同盟】艦隊報道部午前十一時發表＝昨八日海軍航空隊は松浦大尉指揮の下に午前午後に亘り廣西省南寧飛行場を空襲して、飛行場、軍官學校、格納庫を爆擊破壞しまた空中戰鬪により敵機六機を擊墜した、この日空中戰において機銃により敵機を射擊中の平井宗二三等航空兵曹は敵彈のため銃把を握つたまゝ壯烈極まる戰死を遂げた

歐洲外交家だより

二日間に亘る英佛會談を終へた昨年十一月三十日午後フランス首相カミーユ・ショータン氏（寫眞中央）外相イヴォン・デルボス氏（右）は英外相アンソニー・イーデン氏（左）の案內でバッキンガム宮殿に伺候、ジョージ六世陛下に謁見午餐を賜はつた、寫眞は宮殿へ向ふ三相

けふ日曜の臨時閣議

對支問題最後的結論に到達

【東京電話】政府は時局の重大性に鑑み九日は日曜日にも拘らず午前十時より首相官邸に大本營との四相會議の選定會議を開き對支問題の根本方針を根幹として對支問題の檢討に入り重要協議を遂げた結果最後的結論に到達したので午後二時より臨時閣議を開いてその承認を求めた上更に同五時より參議會を開いて閣議決定方針を報告することゝし同零時半散會した、なほ同臨時閣議の結果如何によつては帝國の方針を中外に闡明するものと見られてゐる

中國共產黨大會 近く漢口に召集

【上海八日同盟】中國共產黨は事變の進展と共に國民政府に對し種々の策動を行ひつゝあるが外人方面への報道によれば共產黨は近く漢口に第七回全國大會を召集し對日抗戰の第二段階における國民黨との戰線統一問題につき協議を遂ぐることゝなつた、本會議開催の日は未だ決定してゐないが準備會議に毛澤東、王明、朱德、周恩來、項英、彭德懷等の名が連ねられてをり本會議の議題としては對日抗戰に關聯する左の如きものである（一）黨の活動方針確立（二）勞働階級の動員（三）中國民衆組織

南京米人全部無事

米國務省から發表

【ワシントン八日同盟】アメリカ國務省は南京のアメリカ人被害狀況につき八日左の如く發表した 南京に最後まで踏み留つてゐたアメリカ人十七名はいづれも無事なことが判明した、但しアメリカ人の所有財產はいづれも掠奪の厄に遭つてゐないものはなかつた

なほ右發表は六日漸く南京から南京入りをしたアメリカ領事アリソン氏の調査報告に基くものである

船長の辯明曖昧

【橫須賀電話】三浦半島金田灣の要塞地帶に侵入したイギリス汽船マリオン・モーラー號は東京灣要塞地帶で石塚憲兵少尉、橫須賀特高課員、橫濱三崎出張所などの臨檢を受け八日午後四時船長フオーラー氏以下運轉士、機關士などを橫須賀憲兵分隊に引致し取調べたが同船長の答へた所によれば

同船は東京麹町區內幸町開平炭販賣店の依頼を受け秦皇島石炭を積んで來たが一月六日午前十一時卅分川崎を出てシンガポールに向ふ途中風速二十餘米の強風に遭ひ且つ海圖には要塞地帶が記入されてゐないし同船長は今回が初めての航海であつて地理もよく判らないと要塞地帶侵入を否認してゐるがその辯明に曖昧の點多く同憲兵隊では八日徹宵取調を續行した

獨占資本家の反國家行動論難

ルーズヴェルト米國大統領演說

【ワシントン八日同盟】ルーズヴェルト大統領は就任以來終始獨占資本家の橫暴と戰つて來たが八日民主黨主催ジャクソン大統領記念晩餐會に出席、國內一部資本家の反國家的行動を非難して左の如き演說を行つた、右演說はラヂオで全國に中繼されたが要旨左の通り

アメリカ實業家、銀行家並に產業家中の少數の分子は獨占的統制の持續を希望してゐるが我々はこれに妥協する意向はない、政府は今後とも經濟力の不當集中並に公正を缺く實業界の慣習から生ずる弊害を根絕するため各方面と協力を續ける、事業會社へ投資して損失を蒙つた者は殆んどないに拘らず有價財產の代りに青天井しかない特殊會社に投資して損をした者は夥しい數に上つてゐる、例へば百三十億に上る電氣株主は總株主の四パーセントに過ぎない、一部資本家は政府に對する優越的權利勢力を有すると信じてゐるがこれは不可である

"日本は米國を侵略せん" 宋美齡の滑稽なアヂ文

【ボストン八日同盟】蔣介石夫人宋美齡は愛國の女丈夫を氣どり長期抗戰の急先鋒となつて內に外に宣傳に大童となつて活動してゐるが最近ボストンの知人へ書簡を寄せ『日本は何時かはアメリカを攻略するだらう』とアヂつてゐる書簡の內容左の通り

日本は何時かはハワイを攻略しそこを根據としてカルフォルニアまで侵略の手を延ばすだらう日本當局の野心は大陸を征し巧みに全アジアを制壓して世界に君臨せんとするにある

駐支蘇大使 近く重慶へ

【香港九日同盟】漢口來電によれば新任駐支蘇聯大使オレルスキー氏は十七日漢口出發重慶に赴き同地に於て國民政府主席林森に信任狀を捧呈するに決した

"神苑の朝" 寫眞大好評 希望者にはお頒ち致します

朝鮮神宮奉贊會主催本社後援で三越に開かれた『新春（神苑朝）寫眞展覽會』は九日を以て終つたが、山縣氏の苦心の作による素晴らしい寫眞ばかりであつたので非常な好評で朝鮮神宮を主題とした同出品寫眞の出來榮えの見事さに打たれ敬神思想の高まつた折柄、是非頒けにしたいといふ各方面からの分讓依頼者が多いので、作者山縣三造氏に懇に乞ふて、希望者には實費を以て頒つ事の諒解を得た 同出品寫眞について分讓希望者は三越支店長まで相談されること

日曜氣配

◇期米 買上期待濃厚に引締りて當限と正米は買控へられるが、定期は小口の買氣強く、氣配小堅し ◇株式 世界的軍備擴張に軍需株を中心に買氣強く主力株の強氣循環を見越され氣配は頗含み 大新九九、一〇、東新一七二、五〇、鐘紡二八一、七〇、日產八七六〇 ◇綿糸 氣配は不變

◇梶尾樹一氏嚴父 殖銀商業金融課長代理梶尾樹一氏嚴父同藏氏は病中去る八日午後二時逝去、九日午後三時松嶋町舍宅にて告別式を營んだ、享年六十五

本日夕刊四頁 明朝刊は休み

◇◇次の朝刊新小說◇◇

見果てぬ青春

川口松太郎作 志村立美繪

昨年度の新聞小說界の人氣を席捲した本紙連載中の朝刊小說 小島政二郎氏作「妻」は喝采の一齊射擊を浴びつゝ近く悠々凱旋いたします 續いて本紙は巨砲の連打をもつて戰捷の新春のペーヂを開くことになり本紙には初お目見得の川口松太郎氏の快諾を得て力作『見果てぬ青春』を連載することになりました 川口氏はこゝに更めて御紹介申上げるまでもなく小說に戲曲にさてはシナリオに行くとこ可ならざるなく華麗多彩な構想と巧緻を謳はれる文壇の寵將軍で、氏の傑作『明治一代女』が劇化され、映畫化されて大衆ファンを唸らせたことはまだ記憶に新たなところであります、川口氏が今回とり上げた題材は實在せる女流の日本舞踊師匠の半生で氏の最も得意とする近代都市風俗のなかに繰りひろげるロマンスの花びらこそ愛讀者を完全に魅了し去るに相違ありません、挿繪はこの作者この畫伯と形容したいほどぴつたりとした志村立美氏で、こゝに華麗この上なき二重奏が期待されます、連載の日をお待ち下さい【寫眞は打合せ中の川口松太郎氏（右）と志村立美氏（左）】

＝近日紙上より掲載＝

國定忠次（くにさだちゅうじ）

(132)　長谷川伸 作　岩田專太郎 畫

老婆（三）

旅人の禮節は鞘をひこめ、
「ご存じの通り、中野からすこし行きますと、女のゐる宿場で田中がございます、そこで中野在の戸狩の和平といふ方の花會ばくちがございました、それへ來てゐた長兵衛さんが、原七の顔を見て快つたといふので喧合ひになりかけました。長兵衛さんにしてみれば、馴染になつた遊女に原七が悪調戯をした、さういふ根があつたんださうです」
「さうか。長兵衛はさういふ奴だ。ふと温和しい質だ、よく／＼だつたとみえる」
「原が原七にしてみれば、今おやぢが中野のご陣屋のご用を勤めてゐるので、田中へきても、威を張つてゐました、それが長兵衛さんにかかつて、罵りも罵られもする段までは行きませんでしたが口で小ッ酷くやッ付けられました。アッしも聞いて居りましたが、長兵衛さんの啖呵は見事なもので、原七が三言いふうちにぽンぽンと五言も十言も鉄砲玉みたいにブッ放すのだから、原七は赤ッ恥を掻かされた譯です。それが二月目のおとといの話で、中一日經つて長兵衛さんが、戸狩の和平さんの處から暇乞ひして草鞋を穿き、今考へると、この國定へ歸つてくる氣だつたのでせう、草津峠へのぼりました。ご存じの通りあの峠は、途中、まるで人に出會はない處もあります。その峠の途中、向ふに湯場だけ人がゐるといふ湯治場がみえ、こつちに大きな沼がみえる、そこからちッと先の處で、先廻りしてゐた原七の他に、手を貸したものが二人とか三人とかあつたさうですが、たうとう長兵衛さんは、お氣の毒に、そこでもつてあの世へやられました。あつしがそこを通つたのはその翌日でしたが、よく見ると血が草についてゐました。あッしも旅をかけてゐる者ですから、袖摺りあつただけの長兵衛さんですが、同じ流れの身の上で、けふは他人の身、あすは我が身かも知れないと思ひ、回向する氣でそこらの木の下を探し廻りますと獵師にあひました、その獵師に聞くと、埋めた處を知つてゐて案内してくれまして、掘返した土が新らしくなつてゐるのが目印同然の處へ出ましたので拝んでは來ましたが、渠の前でなりません」
「よく判つた。有難え。お前さんの親切を俺は死んだ長兵衛と一緒になつて禮をいひます」
「恐れ入ります」
「え」
「へい」
「長兵衛のお袋に、この話、當分いふな。客人、長兵衛の女親といふのが今この村にゐて、どうやら日を送つてゐるが、何といつても親一人子一人、死んだと聞かせるのが可哀さうだ。おまけに非業の最期では話しも聞かせ辛い。默つてゐてくれ」
「承知いたしました」
「だが、客人は長兵衛がどこの者だか知らなかつたのだらう」
「へえ、さうでご座います。友五郎さんに伺つて、判つたやうな譯で」
「俺はな、長兵衛が客人の枕に立ち、俺にいつとくれと頼んだといふ、そいつを、この胸にしまうとく、忘れやしねえ、自分の子のことだもの、忘れられるものか」
友五郎が旅人に、
「有難うござんした。あちらでお休み頂ひます」
「へえ。では勝手をさせて頂きます」
旅人が引取つて行つた後で忠次は、憤怒の筋を額に這はせ、目向ふの端に一株ある柿の木の實を、睨むとはなくぐッと睨んでゐる。
「才市」
「へい」
「酒を杯へ入れてきてくれ」
才市が持つてきた猪口の酒を佛壇に供へた忠次は、身動ぎもせず突ッ起つてゐる。
「親分」
「え。才市、まだ居たのか」
「信州へやつて下さい。話は聞きました」
「聞いた。どこで、何の話を聞いた」
「武士の長兵衛の事でさあ。そこの垣根の外にゐたもんですから聞きました。二三人聞いてゐます、頭も付もそれに」
「みんなにいつとけ、喋べるなと」
「へえ」
が、さうは行かない。